

「私の話を聞いてください。 再調査で真相を明らかにしてください」

赤木さん妻、首相に手紙 森友問題

森友学園に関する財務省の決裁文書改ざんで自殺した近畿財務局の元職員赤木俊夫さん（50）が当時（50）の妻雅子さん（50）が六日、岸田文雄首相に「第三者による再調査で真相を明らかにしてください」と求める直筆の手紙を送った。雅子さんの代理人弁護士が明



赤木俊夫さんの妻、雅子さんが岸田首相に送った手紙の「ビ」

らかにした。首相は再調査に慎重な姿勢を示している。手紙は便箋二枚にまとめられ「内閣総理大臣 岸田文雄様 私の話を聞いてください」と書き出し、財務省が二〇一八年六月に公表した調査報告書に関し「夫が改ざんを苦に亡くなったことは書かれていません」と指摘した。

赤木さんが生前に改ざんの経緯をまとめた「赤木ファイル」には、赤木さんが改ざんに「やるべきではない」と抵抗したことが記されているとして「夫が正しいことをしたことに對して財務省がどのような対応をしたのか調査してください」と求めた。手紙の最後には「正しいことが正しいと言えない社会はおかしいと思います。岸田総理大臣なら分かってくださると思います」とつづった。

首相「受け取った上で考える」

岸田文雄首相は7日、森友学園に関する財務省の公文書改ざんで自殺した近畿財務局の元職員赤木俊夫さんの妻雅子さんが、改ざん問題の再調査を求める手紙を首相に送ったことに関し「手紙はまだ受け取っていない。受け取った上で対応について考えたい」と述べた。再調査に

否定的な考えも改めて示した。静岡市内で記者団に語った。

首相は「必要であれば政治として説明することも考えていく。この方針は変わらない」とも語った。

これに先立ち、松野博一官房長官は7日の記者会見で「再調査は考えていない」と明言。「財務省が調査報告書を公表し、関与した職員に厳正な処分が行われ、検察の結論も出ている」と述べた。